風間市長の 風のささやき

「酒宴」

さまざまな場所で、懇親や親ぼくを図るために、酒宴が年中開催されています。花見や歓送迎会、祝勝会に反省会など、冠はいろいろ。そういった場所は決して嫌いではないのですが、酒があまり強くない私としては、時として楽しく感じられないこともあります。アルコールの力を借りてオオカミになる人や、独りよがりに自分の手柄・主張を押し付ける人、命令口調になる人がいると、場の雰囲気が壊れ、何のための酒宴なのか分からなくなります。酒宴は和やかに、そして参加者全員が楽しくほがらかになれるのが一番です。皆さんそうは思いませんか？

「実は酒が強くはないのですよ」と言うと、ほとんどの方に「うそでしょう？　そうは見えませんが…」と言われます。よく「飲めば飲むほど強くなりますよ」とか、「お兄さんは強いのに？」と言われますが、お付き合い程度が事実なのです。見た目やＤＮＡで判断されると弱ってしまいます。大学時代は寮生活でしたので、同級生だけでなく、先輩や後輩たちと飲む機会が数多くあり、苦しい思いを何度も経験しましたが、何も変わらず強くもなりませんでした。それが現状なのです。強く淡々と飲み続けられる人がうらやましい限りです。でも私は、自分では陽気で楽しいお酒だと思っていますが…。私は酒自体より、楽しい酒盛りの場が好きなようです。

表題の「酒」について百科事典で調べてみると、エチルアルコールを含む飲料の総称で、酒税法ではエチルアルコール1度（1％）以上を含む飲料を酒類と呼び、清酒、合成清酒、焼酎、みりん、ビール、果実酒類、ウイスキー類、スピリッツ類、リキュール類、雑酒の10種類に分類されているそうです。また、酒に含まれるアルコールは、糖類が酵母によって発酵する時に生成されるとのことでした。さらには、発酵したものをそのまま飲料にする酒を「醸造酒（清酒やブドウ酒、ビールなど）」、発酵によって得た酒を、蒸留・濃縮してアルコール濃度20度以上にしたものを「蒸留酒（焼酎やウイスキー、ジンなど）」、醸造酒や蒸留酒あるいはエチルアルコールを原料とし、それを混ぜたり、香料などを添加したりしたものを「混成酒（みりんやリキュール、合成清酒など）」と呼ぶそうです。調べただけでも酔っ払ってしまいそうです。

「酒は百薬の長」と言い、適量を守り楽しく飲めばどんな薬よりも優れているそうです。「酒は飲んでも飲まれるな！」飲まれて自分勝手になり、憂いを残すような失敗をしないように気を付けましょう。相手を思いやる気持ちや、相手の立場が分かる優しさと器の大きさを忘れず、おのおのが健康に留意しながら、自分のペースで楽しみましょう。酒を！

話は変わりますが、「グレープ」はブドウです。では、なぜあの大きなかんきつ類の果物を「グレープフルーツ」と呼ぶのか、皆さんご存じですか？

【5月号の答え】

語源発祥地の中国では、河にもフグが生息しているのです。また、フグは敵を驚かすため、豚のように「ブーブー」と鳴くので、「河豚」となったそうです。

まちの話題 ～あの日、あの時～

白石市民春まつり

５月３日、恒例となりました「白石市民春まつり」が開催されました。まぶしい日差しが降り注ぎ、まるで初夏を思わせるような暑い日となった今年の春まつりは、約３万６千人の人出でにぎわいました。

まつりで一番の盛り上がりを見せたのは、午前11時スタートの「しろいし大行列」。神明社の御輿渡御を先頭に稚児行列、太鼓山車や子供御輿、大人御輿と続き、自治会など24団体から約1,000人の皆さんが参加しました。

午後からは、白石城の本丸において今年で９回目となる「片倉鉄砲隊火縄銃演武」が行われました。出陣した片倉軍が戦いに勝利し、白石城に凱旋するという設定。甲冑工房「片倉塾」の皆さんと大崎市から参加いただいている「大崎塾」の皆さんが凱旋し、演武が始まりました。８人の鉄砲隊の火縄銃から放たれる「ズドーン」という大きな音に、詰め掛けた多くの観客からは大きな歓声が上がっていました。

▲毎年、たくさんの観客が詰め掛ける火縄銃演武

募集応募方法　１人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292　白石市大手町１-１白石市総務課へ。**はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。**毎月15日締め切り。Ｅメールでも応募できます。（koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇

岩崎　聰之介　選

傘寿なる夫は稲作り限界とひとに任せて少し寂しらし　八嶋　正子

何ひとつ誇らしきことあらねども素直に育つ孫を吾もつ　大槻　きよ

デイケアに要る手荷物に名前書く母は米寿の一年生　平間　幸恵

山裾に若草色のふきのとう採る人もなく朝日浴みおり　平間　久子

雪の蔵王はるかに見つつ畑の草ひく我の頬撫づる春風　高子うこん

水仙が毎日伸びる春の日に孫あゆみ初むとふうれしき報せくる　後藤　淑子

門出の日学生の数より親の数の多さに驚く少子化の波　鈴木　茂子

はるかなる川岸のあたり犬連れて歩く人あり春の夕ぐれ　佐藤　すみ

桜咲けど雨に降られて益岡は寒くあらんと登れずに居る　後藤　正子

国民は物価高には耐えるけど耐えられぬもの当りバッタリ屋　高橋　要一

評　一首目、旦那さまを思い遣るうた。共に汗した日々が背景にあろう。

二首目、下の句が快く響く。表立ったことには、きゅうきゅうとしない豊かさが伝わってくる。

三首目、これからの加護を祈りつつ、母上の筆先を見守る作者

俳壇

遠藤　秋尾　選

春風と遊んでをりし象の耳　山家　弘子

堂々の横綱像や花萬朶　岩松　隆志

散り際も心得て尚桜かな　寺崎　悦子

城山の城を包みし桜かな　大庭　良子

鯉泳ぐ川面見下す桜かな　福原　峯子

春光を谷地田の水が撥ね返す　斎藤　典子

ポイントにカメラの列や花の城　岩澤　伍峯

遠雷に物干竿に背伸びする　制野　リエ

老犬を連れて行くみち草萌ゆる　高子うこん

一刻千金夕映えのあり桜道　阿部はぎの

評　一句目、春風と象の耳の取り合わせ。「大きな耳が遊んでいる」という着眼点が面白い。そして成功した句。

二句目、益岡城にある横綱大砲萬右衛門の像と、萬朶の桜の取り合わせ。「堂々」という表現が、この句を動かぬものにした。

三句目、「ぱっと開いて散ってゆく桜は潔い。散りゆく桜は、散り際も心得ているようだ」と詠う。武士道を一句に。

柳壇

四竈　英夫　選

つばくらの無事に今年もありがとう　高子うこん

ゆっくりと桜見せてるＪＲ　大庭　良子

都合よく聞こえぬ耳が二つある　草野　清

絆という見えない幸に支えられ　斎藤　典子

手をとりてのぼる坂道テクテクと　遠藤　行夫

狭い国何故にそんなに道造る　水戸　光穂

目も耳も口だけ除き同い年　阿部みさ子

米を研ぐタスキこそ無き独居老　高橋　要一

颯爽と駆けゆく姿さまになる　寺崎　悦子

灯油高季節先取り食文化　阿部はぎの

評　一句目、燕が巣を作ると幸運が舞い込むとか。今年も、無事我が家に来てくれた安堵と感謝の気持ちが出ている。

二句目、桜の期間、ＪＲでは白石川沿いの桜並木区間を徐行運転している。粋な計らいに、桜の名所の面目躍如といったところ。

三句目、都合の良いことだけが聞こえる耳。それが、世間を丸く生きる処世術なのかも知れない。

ダニーの 国際コーナー

「音楽は私の先生！」

私と親しい方はご存じのことと思いますが、私はロックグループ「ＸＪＡＰＡＮ」の大ファンです。初めて日本に来た時、そのメロディーや歌詞に大感動。以来、知り合いから「君はオーストラリアの『ＸＪＡＰＡＮ応援団』だね」と冷やかされるほど、彼らに夢中になりました。ですから、その生ライブを見ることが夢だった私が、幸運にも３日間の復活ライブ（３月、東京ドーム）のチケットを手に入れることができた時、言葉には言い表せないほど喜んだことは言うまでもありません。

私は日本人の友人に「なぜ、そんなに日本の音楽が好きなの？」とよく聞かれます。なぜか。それは、音楽には国境がないからです。世界中どこの国の曲でも、たとえ歌詞の意味が分からなくても、音を通してそのアーティストの気持ちが伝わるはずです。人は、見た目で他人を判断する癖があるといわれています。しかし目を閉じて聴けば、作曲した人の背格好や年齢、国籍などが、音楽の善しあしに全く関係がないことが分かると思います。

私も、なぜ洋楽が日本人に人気があるのか興味がありましたので、洋楽好きの友人にその理由を尋ねると「日本の曲のメロディーと違い、新鮮さがあるから」という答えでした。考えてみると私自身、自国の曲にはない新鮮さを邦楽に感じますし、日本語と英語の違いで曲調やノリが全然違うことにも魅力を感じます。また、演歌やポップスといった邦楽の歌詞は、日本らしく四季などの自然をテーマにしたものが多いことも分かりました。

以来私は、学校では教えてくれない日本人の心を理解しようと、日本語の勉強と平行して、さまざまなジャンルの邦楽を聞くようにしました。音楽のおかげで、自分の心がより豊かになったと思います。今ではクラシックやダンス、癒やし系の音楽も聴くようになり、音楽だけでなく、自分の人生にも挑戦力が出たような気がします。

３月28日、東京ドームはＸＪＡＰＡＮのライブを一目見ようと、世界中から集まったファンで埋め尽くされました。音楽を聴くため、フランスやイタリア、中国、韓国などから、海を越えて日本にやってきた人々。その平和な光景を見て感動しました。その時こう思ったのです。

「世界にはさまざまな国境があるが、やはり音楽は良い先生だ！」